

本庄市議会第2回（6月）定例会は5月29日に開会され、6月22日に閉会しました。今議会に提案された主な議案は、東日本大震災の復興支援の市民負担の税金分が終了したがその分を今度は森林環境税として6年度から徴収すること等を含んだ本庄市税条例の一部改正、本庄西中学校の大規模改修に伴う工事請負契約の締結、小中学校の給食費の期間限定の再度の無料化の予算を盛り込んだ一般会計補正予算などが提案、審議され、可決されました。



本庄ケーブル
テレビから掲載

教科書採択は透明性・公開性の拡充を、朝鮮人虐殺100年の歴史を市民に伝える行事の開催、通学路の安全確保について質問

1. 教科書採択について

質問 未来を担う子どもたちに手渡す教科書は歴史の真実に基づいた、より良い内容の教科書であるべきである。この間、侵略戦争を賛美する教科書の参入や、特別の教科としての道徳教科書の導入などの際には一般質問をしてきた経緯があるが以下について伺う。

- ① 教職員の意見の尊重をすため、教科書の見本本の学校内での回覧、教職員の閲覧場所を増やすこと、勤務時間内に教科書の検討をし、報告書の作成ができる時間を確保すること。
- ② 保護者などの閲覧する機会を増やすため、展示場所の増設や閲覧期間の拡充（日数、時間）、展示会の告知の拡充。
- ③ 教科書選定委員会の傍聴者に対し、次第の配布だけでなく、出された意見の記載された資料を配布すること。
- ④ 16採択区の会場の閲覧時間（1~1時から6時まで）と日数（14日間）の延長について
- ⑤ 選定委員会の様子をケーブルテレビなどで放映することや、採択結果の速やかな公開。
- ⑥ 教科書選定に対し市長は意見を言つないとねできるところ答弁が前回あつたが、この設置でどのように意見をいうのか伺う。

答弁

県から送りられてくる見本本の数が限られているので従来通り、児玉郡市で1か所の会場（本庄市図書館）で従来のやり方で行っていくので理解を。県内25市町村27会場で行っているが、閲覧時間については今後も検討していく。

閲覧の告知は新たにほんじょうエフエムなどでも行ってる。資料は会場で閲覧できるようになります。

市長が意見を語つところは、協議会と教育委員会以外、たとえば市長のフェイスブックなどが考えられる。

2. 関東大震災から100年の行事について

質問 今年は関東大震災・朝鮮人虐殺事件から100年にあたります。今年は9月1日の長峰墓地での慰靈の追悼式だけにとどまりず、市主催で学びのつどいを開催してこの歴史を市民に伝えていくことが大事だと考えるが見解を伺う。

3. 通学路の安全確保について

質問 国道17号小島北交差点から旭小学校に向かう通学路は県道319号線交差点の角に建設中のビジネスホテルの敷地に面しておらず、ここを通る児童の安全確保について心配の声が地元から上がっているが、市は承知しているか。安全確保のための市の対策、事業者の地元住民への説明会の開催について伺う。

答弁 10階建てのビルの建設で、通学路が工事車両の出入り口になるので、学校から業者に安全に配慮するよう要望している。

4月初めに業者から自治会役員に説明があったと聞いている。

住民の声を業者が説明会を開催

8月1~9日(土)午前10時・万年寺自治会館

*お問い合わせてご参加を

日本共産党
本庄市議会ニュース
No. 160
2023年 8月13日(日)

発行・日本共産党本庄市議会議員
市議会控室
本庄市本庄3-5-3市役所内
党本庄市委員会 21-2098
柿沼綾子 24-3508

生活相談は気軽に

<http://www.jcp-saitamahokubu.jp/>

**3月30日に行われた
櫻井よしこ氏を講師に招いての人权教育研究集会の状況について担当課に書面で聞いた内容をお知らせします。**

1、かかった経費

講師派遣手数料	1,595,000円
交通費	14,800円
合計 1,609,800円	

2、入場者数

当日参加者は約500人

3、当日持ち物検査をした理由など

回答

批判的意見のメールなどが市に寄せられていたので、参加者に危険が及ぶ可能性があると判断して、警察にもアドバイスをもらって記録のある限り今回初めて手荷物検査を、あくまでもお願ひという形で実施した。

拒否しても入場を断ることがないように配慮した。

4、当日会場に警察関係者がいたとのことだが何人要請したのか。前例はあるのか。

回答

本庄警察署へ警備の依頼でしたが人数は把握していない。これまでの人権講演会での警察依頼は、記録のある限り行っていない。

以上、回答の要旨を掲載しました。

原水爆禁止国民平和大行進 in 本庄

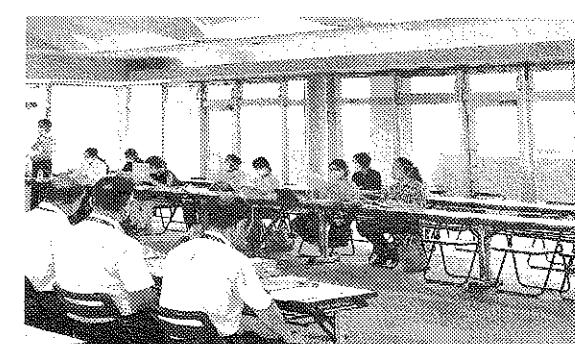


7月17 日本庄市役所前庭で集会。(前列右から吉田市長、富田議長、柿沼綾子議員)



市内を行進する柿沼綾子議員(左)

キャラバン自治体要請行動



7月14日、本庄市役所6階大会議室でおこなわれた埼玉県社会保障推進協議会の自治体要請キャラバンに参加する柿沼綾子議員。(上の机、右から1人目)

**小中学校の給食費が9月から7か月間無料に
昨年に続き2度目、一刻も早く市の制度に**

今議会で提案された補正予算は、主に新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金や、新型コロナウイルス感染症セーフティーネット強化交付金の使途に関するものでした。

その中で、子育て世帯や住民税非課税世帯への給付金など以外で大きなものは、今年3月で一度終了した、小中学校の学校給食費の保護者負担軽減（給食費無料）事業でした。

内訳は、市内小中学校の子どもと私立小中学校の子どもあわせて6546人分の保護者負担分1億7386万7千円（7カ月分）が計上されています。

給食費を市で無料にするのにかかる経費は市の年間予算の1%といわれていますが、まさにその通りになる計算です。美里町、神川町ではすでに無料化が実現しています。国の補助金があるときだけではなく、年間通して市として無料になるよう引き続き声を上げていきましょう。

被ばくアオギリが
こんなに大きくなりました

このアオギリは2021年3月に、広島市から送られた被ばく2世のアオギリを植樹したものです。



8月6日、市役所東駐車場敷地内にて撮影